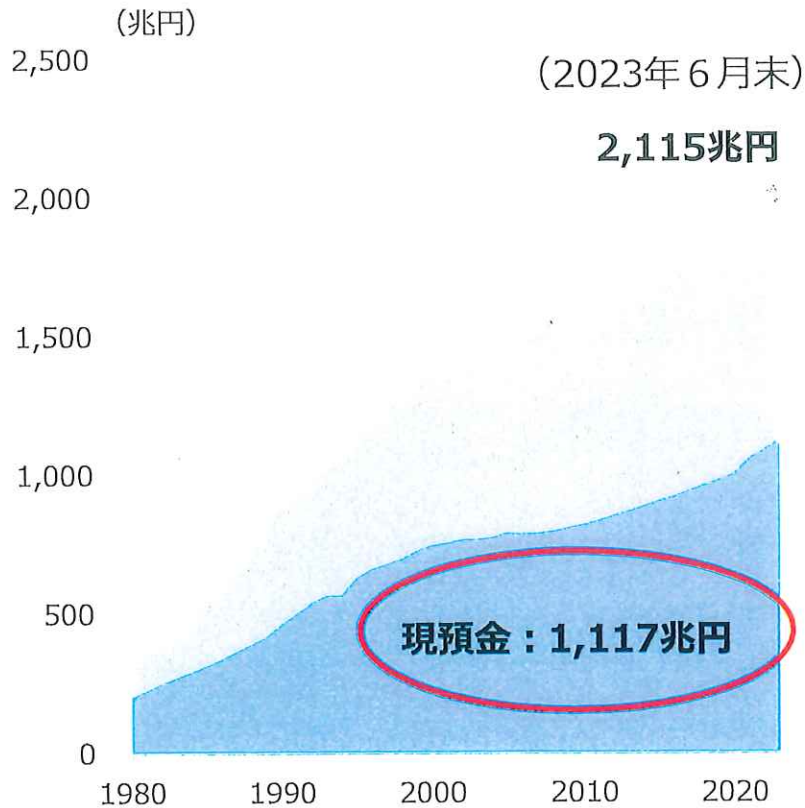


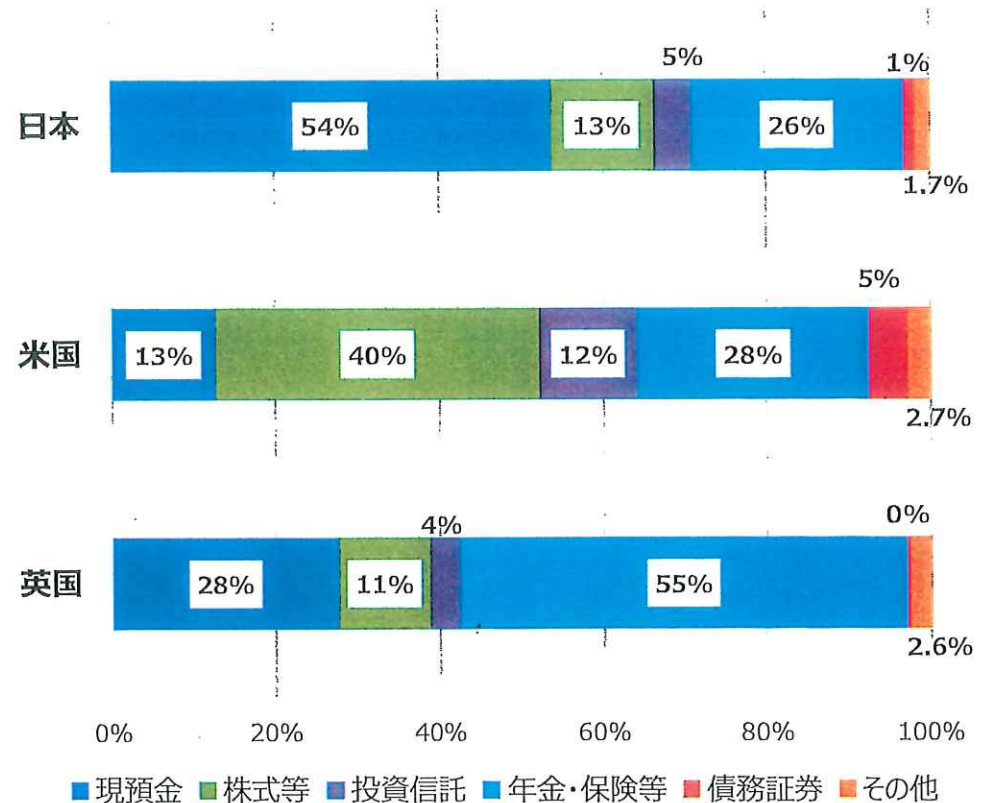
- 日本では、家計金融資産に占める現預金の割合が大きい。資産運用業の改革、新規参入と競争の促進により、更なる資産運用の伸長の余地がある。

## 家計金融資産と現預金の推移



(出所) 日本銀行の統計資料より金融庁作成。

## 家計金融資産ポートフォリオの各国比較



(出所) 日本銀行、FRB、ONSの統計資料より金融庁作成  
(注) 2023年3月末時点の数値。

日米家計の金融資産に占めるリスク資産（株等）の保有率の比較（2019年）

<日本>

純資産階級（分位）	I分位	II分位	III分位	IV分位	V分位
金融資産の平均保有額（円）	120万	336万	701万	1446万	3795万
株式、ファンド（投信） 保有比率	5.2%	4.2%	6.1%	9.0%	17.5%

<アメリカ>

純資産階級（分位）	I分位	II分位	III分位	IV分位
金融資産の平均保有額（円）	58万	245万	921万	1億4564万
株式、ファンド（投信） 保有比率	2.7%	4.3%	7.2%	38.8%

（注）1ドル=110円（2019年平均）で換算。純資産を基準に日本は5分位（全世帯を5等分）、アメリカは4分位（全世帯を4等分）。「純資産」は金融資産、土地・住宅を含み、負債を引いたもの。また、分母となっている「金融資産の平均保有額」はそれぞれの「分位」における金融資産保有額の平均。その金融資産の平均には土地、住宅は含まれず、負債も引かれない。これらは、アメリカのデータに条件を合わせた。

出所）日本は「家計構造調査」（2019年）、アメリカは連邦準備銀行「消費者の金融に関する調査」（2019年）より小池晃事務所作成

2023年11月16日 参議院財政金融委員会 日本共産党 小池晃 資料②